

HSBC

投資家とアドバイザー向けの 取引プラットフォームを HSBC Mutual Fundへ移行



バックグラウンド

HSBC AMC は、HSBC のグループ企業です。HSBC Mutual Fund は、インド国内の1,000以上の拠点から100万人以上のお客様にサービスを提供し、株式、債券、商品ファンドの3つのオプションからなる100以上のスキームを取り揃えています。2022年にその運用資産は102億ドルに達しました。

課題

- 2022年11月、HSBC アセットマネジメント(インド)株式会社が L&T インベストメントマネジメント株式会社を買収することが決定。その結果、L&T Mutual Fund が運用する投資信託を移行し、HSBC Mutual Fund の特定のファンドと統合、または融合される必要性が発生。
- L&T アセットマネジメントカンパニーの1万を超える顧客アカウント全てを HSBC に移管。ファンドおよび売買データの移行と統合、さらに投資家とアドバイザーのウェブポータルとモバイルアプリのフロントエンドの統一。

ロボソフトのアプローチ

- 顧客アカウントの移行元ファンドと移行先ファンドの関連付け。
- 顧客とアドバイザー向けのウェブポータルおよびモバイルアプリのデザインを、HSBC の企業ポータルに合わせて変更。

- MySQL のストアードプロシージャを駆使して、ユーザーデータを自動的に移行。
- 投資家とアドバイザーのログイン情報の管理。

成果・効果

- 統合後、投資家の口座を整理しファンドとポートフォリオの重複を排除。
- L&T Mutual Fund のクラウドシステムから、新しい HSBC Google Cloud Platform 環境への移行。
- 10,000人以上の HSBC 既存ユーザーの移行と、L&T Mutual Fund ユーザーとのスムーズな統合を実現。
- UI/UX 向上の一環として、規制要件に沿ったフローを再設計。

主なテクノロジー

- Spring
- Microservices,
- MySQL
- Angular JS
- Kubernetes
- Docker
- GCP environment